

JCHO 中京病院施工段階が進行中です

このプロジェクトは、JCHO 中京病院様が 405 床の新棟東館の新築とそれに伴う、老朽化の進む南館、および健康管理センターの建て替えや築 35 年を迎える本館などの既存建物の改修といった一連の整備を行うものです。

JCHO 中京病院様は 5 疾病、6 事業を中心に急性期総合病院としての役割を果たすとともに、併設する老人施設を通じて地域包括ケアにも力を入れている病院です。整備により高度急性期の診療機能の再構築を図り、地域の急性期医療の基幹病院としてさらなる機能強化を実現します。

当社は施工段階において、品質・コスト・スケジュールに関して発注者の意図を汲み、工事が円滑に進むべく、必要な確認および指摘を行っています。この度、プロジェクトのメインとなる東館新築工事が 2025 年 3 月に鉄骨工事を終え、無事上棟を迎えました。引き続き竣工に向けて円滑なプロジェクト推進により、病院様を力強く支援してまいります。



JCHO 中京病院 新病院建替え整備計画			
事業主	：地域医療機能推進機構 中京病院	設計	：株式会社久米設計
建設地	：愛知県名古屋市中区	施工	：建築 株式会社熊谷組
用途	：病院	電気	：東光電気工事株式会社
構造 / 規模	：鉄筋コンクリート造 / 地上9階、塔屋1階	機械	：シブヤパイピング工業株式会社
延床面積	：約39,747㎡	竣工	：東館 2025年10月（予定）、全体 2027年7月（予定）
C	M	：株式会社プラスPM	



賛育会病院南館解体工事に着手しました

「太平地区一期工事」は賛育会病院様の新病院建設の前段階として、老朽化した既存の外來棟西館を解体除却することが目的です。2025 年 1 月より同館の躯体解体が本格的に始まりました。 賛育会病院様は、東京都東部地域における急性期から慢性期までの地域密着病院として安全で安心な医療を提供されています。

当社は 2020 年に基本構想段階から本事業へ参画し、全体のスケジュール管理とコスト管理、工事業者選定資料の作成支援、工事業務仕様書の作成、定例会議での施工計画・安全対策への助言を行っています。

1930 年に竣工して以来、戦災を潜り抜け、地域医療に多大な貢献をした由緒ある建物がその役目を終えて安全に解体され、2025 年 12 月の一期工事の完了を無事に迎えられるよう、今後も当社の知見を活かし支援してまいります。

賛育会病院 太平地区一期工事 南館解体工事			
事業主	：社会福祉法人賛育会 賛育会病院	延床面積	：約2,595㎡
建設地	：東京都墨田区	C	M
用途	：病院	設計	：遠藤新
構造 / 規模	：鉄筋コンクリート造	施工	：株式会社マツヒロ
		竣工	：2025年12月（予定）

社員紹介

前職では建設会社で建築設備担当として、主に電気設備に関する設計・積算、現場管理に従事していましたが、より広い視野で建設プロジェクト全体をマネジメントする仕事に興味を持ち、プラス PM に入社しました。現在はプロジェクト・マネジャーとして、お客様視点でプロジェクトの成功に貢献できることに、大変やりがいを感じています。

5 月からは PlusPM Vietnam へ出向になり、ベトナムでの建設事業を支援します。海外という新たな環境での挑戦を楽しみにしています。



東京支社

きとう ひであき
鬼頭 秀明

+PM 株式会社 プラスPM

代表取締役社長 木村 譲二

本社：〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 3-3-11 淀屋橋フレックスタワー
東京支社：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-4-6 ニューカワイビル
福岡支店：〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 8-1 JRJP 博多ビル
TEL：0800-805-0660
Eメール：info-pm@plusweb.co.jp

+PM Plus PM Consultant (1054055-T)

Managing Director / CEO Joji Kimura

マレーシア：16-16, 16th Floor, Wisma UOA II, No.21,
Jalan Pinang, 50450 Kuala Lumpur, Malaysia

+PM Plus PM Vietnam

Managing Director / CEO Joji Kimura

ベトナム：Room 708, 7th Floor, The Imperial Suites, 71 Van Phuc Street,
Lieu Giai Ward, Ba Dinh District, Hanoi, Vietnam

※本誌に対するご意見、ご感想をお待ちしております。お問い合わせ先は、Plus Update編集部まで

Japan 医療・福祉版 Plus Update

PR Booklet

+PM 株式会社 プラスPM

2025 May • Vol. 52

+ 野洲市民病院の起工式が執り行われました



2025 年 2 月 10 日に野洲市民病院再整備事業の起工式が執り行われました。式典には野洲市長の櫻本直樹様や病院長の前川聡様をはじめとして、地元自治会の関係者や設計・工事関係者など総勢 50 名が出席されました。

当社は本事業にシップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社とのコンソーシアムとして参画し、基本計画策定、基本設計デザインビルド発注支援、設計段階及び施工段階まで一貫したプロジェクトの支援を行っています。

発注準備段階においては、建設会社を対象にマーケットサウンディングを行い、建設状況に合わせた発注条件を設定することで、競争環境の構築を実現しました。また発注段階において基本設計デザインビルドの特徴を最大限に活かすために、入札参加会社と対話を行いました。これにより設計施工会社の技術力を計画に取り入れることができたため、その結果として、コストおよび品質を最適化できました。

材料費および労務費の高騰などで厳しい建設状況の中、2025 年 3 月から施工段階に移行しましたが、発注者様、設計施工会社様と一丸となることで、予定通りのコスト、スケジュールで事業を推進しています。

新しい野洲市民病院は、地域医療における中核的医療機関として地域住民の健康と福祉を支えることを目的としています。また、高齢化が進み地域包括ケアの重要性が増す中で、在宅医療やリハビリテーションなど

のサービスも充実させる予定です。

開院の目標は 2027 年 3 月です。地域医療の中心的な役割を果たし、多くの市民に安心と信頼を提供できる施設の完成が期待されています。

野洲市民病院の建設は地域医療の新たな一歩であり、これからのさらなる発展に向けた重要なプロジェクトです。当社は引き続きプロジェクトの成功に向け支援してまいります。

野洲市民病院整備事業

事業主	：野洲市民病院
建設地	：滋賀県野洲市
用途	：病院
構造 / 規模	：鉄骨造 / 地上6階
延床面積	：約15,600㎡
C	M
設計 / 施工	：熊谷組関西支店・奥田工務店特定建設工事共同企業体 内藤建築事務所・滋賀県建築設計監理事業協同組合 設計共同体グループ
竣工	：2026年11月（予定）

メンタルホスピタル鹿児島県の起工式が執り行われました



メンタルホスピタル鹿児島 起工式



鎮入れの儀で「刈初めの儀」を行う公益社団法人いちょうの樹 理事長 佐藤 大輔 様

2025年3月3日、メンタルホスピタル鹿児島県の起工式が執り行われました。メンタルホスピタル鹿児島は1930年に開設され、県内で最も歴史ある民間精神科病院として地域住民の生活を支えてきました。これまで施設の老朽化に伴う増改築を行い医療ニーズの変化に対応してきましたが、慢性期病棟は築50年以上が経過し、老朽化が進行してきたことを受け、建て替えが喫緊の課題となりました。本事業は老朽化した慢性期病棟の建替えだけでなく、敷地内の既存建物全体のあり方を見つめ直すことで患者様の安全性・利便性を向上させるとともに、病院機能の最適化を図ることを目的としています。

当社は本事業の基本構想策定段階から参画し、一貫して支援してまいりました。基本構想・基本計画段階では、現況調査やアンケートなどをもとに様々な課題を抽出し、解決策をご提案しました。特に、収益性の向上や投資金額の抑制のために、敷地内にある既存建物の有効活用や、道路を挟んだ敷地にある既存建物を空中廊下で接続するなど、もともとあるものを活用しながら最適な病棟構成や動線計画となるように計画しました。設計者選定においては、当社が作成した基本構想・計画書やプロポーザル実施要項書などにより参加者に病院様の想いや要求事項を円滑に伝えられたため、本事業のパートナーとして最適な設計者を選定できました。

その後、基本設計・実施設計を経て行われた施工者選定では、昨今の急激な外部環境の変化・建設費高騰の影響を受け、予算を30%程度超過する見積りとなりましたが、病院様・設計者・CMが丸となり医療機能の見直しや、それに伴う工事内容・規模の検討、発注戦略の見直しなどを行い、無事着工に辿り着くことができました。

まだまだ不確実・不透明な情勢が続きますが、今後の施工段階も引き続きプロジェクト成功に向けて支援してまいります。

メンタルホスピタル鹿児島建替え計画			
事業主	：公益社団法人いちょうの樹	延床面積	：増築棟：約4,517㎡
建設地	：鹿児島県鹿児島市		既存棟：約6,784㎡（うち500㎡程度改修）
用途	：病院	C	M：株式会社プラスPM
構造 / 規模	：鉄骨コンクリート造 / 地上3階	設計	：株式会社共同建築設計事務所
		施工	：株式会社前田組
		竣工	：2027年6月（予定）

千葉市立新病院の基礎工事が完了しました



2023年12月に着工した千葉市立新病院整備事業が2024年12月に基礎工事まで完了しました。本プロジェクトは総合的な医療を提供する千葉市西部地域の中核的な病院として、老朽化が進む千葉市立海浜病院の機能を基盤にした新病院を移転新築するものです。

当社はECI(※) 事業者選定、および 実施設計段階から事業に参画しました。施工段階では主に工程のマネジメントや別途発注工事と本体工事の調整、および設計変更に伴う工事費の確認などを行っています。また、各 会議体においてはコスト・工程はもちろん、それ以外の領域に関しても発注者目線で施工者・設計者・監理者へ確認しています。引き続き竣工に向けて発注者様のリスク回避と本体工事への別途発注工事の円滑な反映を支援し、市民の求める新病院完成を目指します。

(※)ECI方式(Early Contractor Involvement 方式)

ECI方式は、建設プロジェクトの発注方式の1つで、設計段階から施工者(建設会社)が参画し、施工の実地を前提として計画に対する技術協力を行う方式です。施工者(建設会社)の技術力を設計内容に反映させることで「コスト削減」や「工期短縮」を図ることを目的とします。

千葉市立海浜病院整備事業			
事業主	：千葉市	延床面積	：約38,832㎡
建設地	：千葉県千葉市美浜区	C	M：株式会社プラスPM
用途	：病院	設計	：株式会社 日建設
構造	：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造（免震構造）	施工	：鹿島・鶴沢特定建設工事共同企業体
規模	：地上5階、塔屋1階	竣工	：2026年3月（予定）

新潟県立吉田病院の基本設計デザインビルド事業者が選定されました

新潟県立吉田病院は、新潟県地域医療構想（県央地域）に基づく医療再編により地域密着型病院に位置づけられ、施設の老朽化を背景に同病院改築事業は県央基幹病院との緊密な連携体制を早期に構築することを目指しています。燕・弥彦地域の住民にとって身近な医療機関として、高齢者医療の中核を担うとともに外来診療やリハビリテーションなど地域密着型医療の提供体制の整備と、これまで展開してきた消化器系疾患診療、人工透析治療、子どもの心の診療および小児慢性疾患診療の継続に取り組みます。

当社は基本計画段階から本事業に参画し、設計と施工を一括発注する基本設計デザインビルド方式(※) の採用を前提とした総合評価型一般競争入札による事業者選定を支援しました。入札参加者には、地域密着型病院としての診療機能の向上、療養環境や職場環境の整備、地域交流の場の創出、並びに建物の安全性や経済性への配慮など、具体的な提案を求めました。昨今の物価上昇や電気・設備会社の人手不足という厳しい状況下にもかかわらず、入札参加者との三度にわたる対話を通じて発注者側と参加者側のプロジェクトへの相互理解を深めた結果、無事に事業者が決定しました。

また、同病院の運営は、2024年4月から指定管理者制度に移行しており、県だけでなく指定管理者とも連携しながら新病院整備に関する課題の解消を図っています。双方の理念やニーズを反映した計画が期待される中、技術力と実績の豊富な事業者を選定することができました。

2027年度の新病院竣工に向け、効率的で経済性に配慮した建設計画の遂行と、開院スケジュールの厳守を実現すべく、本事業を着実に推進してまいります。

(※)基本設計デザインビルド方式(基本設計 DB 方式)

基本設計 DB 方式は、建設プロジェクトの発注方式の1つで、基本設計、実施設計、施工を同一の 事業者(建設会社)が行う方式です。設計と施工を同一の事業者が発注することによりプロジェクトの円滑な進行が可能となり「工期短縮」が期待できます。また、事業者の持つ固有の技術を設計に反映させることにより「品質向上」を図ることを目的とします。

新潟県立吉田病院改築事業			
事業主	：新潟県病院局	C	M：株式会社プラスPM
建設地	：新潟県燕市	設計 / 施工	：戸田・加賀田・水倉特定共同企業体・佐藤総合計画グループ
用途	：病院	竣工	：2027年7月（予定）
構造 / 規模	：鉄骨造 / 地上5階		
延床面積	：約8,890㎡		